

25～26 年度 第 1 回 (一社)神奈川県建築士事務所協会 「住・緑・家」運営専門委員会 議事録			
開催日時	平成 2 5 年 7 月 3 0 日 (火)	会 場	神事協地下会議室
出席者 (○)	担当理事(委員長) ○大和田 副委員長 ○長谷川・○玉田 (委 員) ○中尾・○山中・○新村 ○棕副会長・○福田業務支援委員長		
1. あいさつ			
2. 委嘱状授与(大和田担当理事より)			
・専門委員会 会議運営等についてのお願いをした。			
3. 報告事項 ①前回議事録の確認			
②東急白根自治会館の進捗状況報告 (設計契約は 6 月 15 日。擁壁問題も見通しがついてきて、自治会長が補助金申請を 7 月中の予定で進めています。)			
・デザインの變更あり。構造設計を入れる。			
・「住・緑・家」事務費については、施主都合で計画を断念する可能性もあるため、中尾さんのタイミングで入金をして頂くこととした。			
③その他			
・永田町上第五町内会館の報告			
8/1～12/末の予定で工事を行うため、工事監理契約を締結した。			
3. 議 題			
(1) 正副委員長の選出			
・委員長として大和田担当理事を、副委員長として、長谷川、玉田の両氏が選任された。			
(2) 「住・緑・家」の運営について(申込対応等)			
・説明時の対応方法等について			
基本的には、大和田委員長と副委員長のどちらか(作品を提出しない方)で行う。			
また、上原前会長にも協力を頂くよう依頼する。			
(3) 規程等の變更について			
①一般社団法人に變更する。			
②住宅版と町内会館版を別に作成するかについては、検討する。			
③今後の活動によって全体の見直しが必要になる可能性もある			
(4) 今後の進め方について			
①委員増員について			
・各ブロックより一人は欲しい。メンバーの推薦案を出すこととした。			
②意見			
・受注の量を増やすことが必要。			
・コンペの結果のみでなく、選考の内容も示す必要がある。(二次選出作品)			
・外部への発信をする。(「住・緑・家」、地域材) 現在は補助金もあるので、チャンスである。			
・各支部への P R を行う。			

- ・従来の「住・緑・家」の枠を超えたコンペ受け入れも考える必要があるのではないか。

(5) その他

①年間のスケジュールを提出すること。(フォーマットあり)

②その他

- ・木造専門委員会との相互協力も必要では。
- ・各支部でコンペシステムを作るように働きかける。
- ・非木造建築物コンペへの対応については、都度対応する。(現状通り)
なにかあれば、業務支援委員会に相談する。
- ・地域型住宅ブランド化の採択を受けたら、コラボした企画を考える。
- ・業務支援委員会では、当会事業の宣伝、営業を実施予定。

次回 平成25年 9月10日(火) 15:00～ 神事協会議室にて

25～26 年度 第 2 回 (一社)神奈川県建築士事務所協会 「住・緑・家」運営専門委員会 議事録			
開催日時	平成 2 5 年 9 月 1 0 日 (火)	会 場	神事協会議室
出席者 (○)	担当理事(委員長) ○大和田 副委員長 ○長谷川・○玉田 (委 員) ○中尾・×山中・○新村 オブザーバー ○矢澤		
1. あいさつ 大和田委員長より			
2. 報告事項 ①前回議事録の確認			
②東急白根自治会館の進捗状況報告 <事後報告> ・自治会館は、現在地質調査を行うために見積を取っていたが、基礎を設計する為にボーリング調査を行う事になったのですが、既存擁壁フーチングがあったりして建物を解体しないと調査出来ないと言われ、再調整し、サウンディング調査を行って基礎を設計する事で進めています。基礎が特殊ですが、横浜市から確認申請で構造図は(検討書を含め)必要無いと言われました。今回は構造設計者に全て設計して貰う事にしています。建物は、少しのプラン調整と外観デザインをし直しています。 次回の 21 日打合せで新しいデザインとプランを決定する予定で進めています。決定したプランで概算見積を地元の建設会社から取って、工事費の見通しが立てば間違い無く進むこととなります。 擁壁、基礎に思ったほど工事費はかからない感じと思っています。デザインも片流れ屋根でバルコニーを無くしシンプルにしていますが、面白くなっている。			
③9/9 業務支援委員会報告 ・木造幼稚園の耐震診断の問合せ対応について 診断自体は、木造専門委員会が対応するが、結果次第ではコンペ事業になる可能性もあるので、受入れ準備をして欲しい。			
④その他 ・永田町上第 5 町内会館の報告 9/6 上棟した。			
3. 議 題			
(1) 規程等の変更について			
①委員会規程 ・一般社団法人化による定款等の改正と委員会名称が変更となったため、改正を行う。			
②要綱			
③運営細則			
④登録事務所規定 ・一般社団法人化に伴う変更と委員会名称変更による改正。			
以上を 9/12 理事会へ諮ることとした。			
・その他の規定についても、一般社団法人化に伴う変更と委員会名称変更による改正を行うことが了承された。			
(2) 委員の増員について (9/12 理事会承認)			
・横浜支部 小野綾子氏 (A Y 設計室・「住・緑・家」登録事務所) ・鎌倉支部 矢澤正明氏 (一級建築士事務所アトリエアテネ) ・大和綾瀬支部 小幡剛志氏 (㈱徳豊設計・「住・緑・家」登録事務所)			
以上 3 名の推薦があり、9/12 理事会にて承認予定であることが報告された。			
(3) 「住・緑・家」の運営について (申込対応等)			

①説明時の対応方法等

- ・現状の「住・緑・家」説明方法は、住宅については、来所頂くことが多い。自治会館については、自治会へ出向くことが多い。

②コーディネーター（コンペ立会）費用の見直し（現状、5,000 円/回）

- ・交通費を別に支給することとし、26年度の予算に組み込むこととした。

（４）今後の進め方について

- ・提出された作品については、コーディネーターが講評を付けて出すことが良いのでは。
- ・講評を出すには基準が必要では。例えば、予算、法的なチェック（明らかにダメなもの）
- ・「住・緑・家」コンペの制度は、会員目線なのかお客目線なのか。客目線であれば、PRがもっと必要。
- ・年間目標を立て、目標に向かっての方策を考えたい。例えば、2020年までに受注を5倍にする等、具体的検討をしていきたい。これについては、委員全員の総意で設定したい。
- ・中長期的な目標設定も必要。
- ・受注拡大のために必要なことは？
- ・一般消費者に見てもらえるような成果物が必要では？成果物の見直しも検討することも必要では？例えば、A3版2枚を自由（模型、パース、CG等）するとか、A3版2枚+αにする等。

（５）次年度予算の検討

- ・次回目標設定を決定し、検討することとした。

（６）その他

①委員会開催スケジュール

原則、第1火曜日とした。10/1、11/5、12/3 いずれも 15:00～17:00

<宿題>

- ・新たなコンペシステムの構築をするに当たっての提案を次回委員会へ提出すること。利点、問題点等も含め。

次回 平成25年10月 1日（火）15:00～ 神事協会議室にて

25～26 年度 第 3 回 (一社)神奈川県建築士事務所協会 「住・緑・家」運営専門委員会 議事録			
開催日時	平成 2 5 年 1 0 月 1 日 (火)	会 場	(一社) 神奈川県建築士事務所協会 会議室
出席者 (○)	担当理事(委員長) ○大和田 副委員長 ○長谷川・○玉田 (委 員) ×中尾・×山中・○新村・○小野・×矢澤・○小幡		
1. あいさつ 大和田委員長より			
2. 自己紹介 ・大和田委員長より、横浜支部 小野綾子氏、 大和綾瀬支部 小幡剛志氏に委嘱状が授与された。			
3. 報告事項 ①前回議事録の確認 ※他社のコンペシステム例として 料金として 12000 円で、お申し込みから一級建築士と相談。 エントリー会社の中から 3～5 社選べる。 一度に複数のプランと見積もりが比較できる。 営業されることがなく検討ができる。 ②その他			
4. 議 題 (1) 今後の進め方について(目標設定等) ・一般の人の考えとして、申し込んだ人が、どういった人がやって、 どういった組織が活動してるのか明確ではないと不安になる。 ・会員目線で活動していき、申込数を増やすため 1 つにしばらく色々な事に手を広げる。 ・民間に人気なのは設計・施工が合わさったコンペなので、 設計者向けのコンペだけではなく、設計・施工者向けのコンペをやっていきたい。 ・今までの活動で運営のノウハウがあるので、 営業が出来る人と繋がり企画していく。 ・一般の人の考えとして予算の中で提案した人と、予算以上で提案したら後者のほうが選ばれやすい。 ・住・緑・家だけで考えても今の状態では出し尽くしてしまった。 マイナーな事にも手を出してみる。 ・やる事が決まれば委員会名を変えて活動していく。 ・建築事務所もそれぞれで、1200 万円以内で依頼しても、設計から解体込み設計を提示する人や、 設計と解体を抜きで依頼料に収める人もいる。 ・住宅コンペを行う際に、住・緑・家の説明をして登録者を増やしていきたい。 ・神事協ホームページに会員の作品が流れていくようなコンテンツを記載していきたい。 問題として個人情報保護法などでの、トラブルは避けていきたい。 (2) 次年度予算の検討 ・コンペ立会費：5,000 円/日＋交通費実費 ・住・緑・家の登録料を無くし、ポイントカードを作成する。 講習会や、コンペなどをある程度ポイントが無いと参加できない仕組みにする。 (3) その他 ・やる事が決まり、人数が足りなかったら増員する。 この件に関して、理事会で了承済みである。			
次回 平成 2 5 年 1 1 月 5 日 (火) 15:00～17:00 神事協会議室にて			

25～26 年度 第 4 回 (一社)神奈川県建築士事務所協会 「住・緑・家」運営専門委員会 議事録			
開催日時	平成 2 5 年 1 1 月 5 日 (火)	会 場	(一社) 神奈川県建築士事務所協会 会議室
出 席 者 (○)	担当理事 (委員長) ○大和田 副委員長 ○長谷川・○玉田 (委 員) ×中尾・×山中・○新村・○小野・○矢澤・○小幡		
1. あいさつ 大和田委員長より 2. 各種報告事項 ①前回議事録の確認 (10/1) ②第 2 回統括委員長会 (平成 2 6 年度予算案について) 報告 ・コンペ P R 費の 5 0 万が無ければ新しいシステムの P R をすることが出来ないので予算案はそのまま提出することとした。 ・講習会等の開催で収入を適切にするため、契約金は一律で 1 0 万円とすることとした。 ③上記に係る小林会長からの依頼事項について ・講習会や見学会等を実施予定する場合、企画委員会に話を持っていくこととする。 ・必要な予算の確保について、登録料で確保したほうが安定するのではないか。 ④自治会館コンペの問い合わせ (2 件) について 10 月 30 日 横浜市中里第 3 自治会館の件について ・「住・緑・家」の説明を行った際には、何割かの可能性で受注が出来るのでは。 11 月 1 日 茅ヶ崎本宿自治会館の件について ・11 月 7 日に集まりがあり、パンフレットを渡す予定である。 ・集まりには、大和田委員長と玉田副委員長に一任することとした。 3. 今後の活動方針について ①「住・緑・家」運営・規定の改定について ・県産材木造で内容をしぼれば、講習会を実施しやすいのではないかと。 ・今年度に木材の講習会を検討することとする (登録事務所必修とする。) ・自治会コンペ 2 つ実施が決まったとしたら仮に講習会を実施しなくても予算的には約± 0 の計算になる。 また委員全員で運営・規定の改定に関するディスカッションを行った。 矢澤委員より ・コンペ 1 つ 1 つに参加するための投資をする方が、気は楽である。 ・講習会を行うとコンペをどういう団体が実施して審査しているのか事前に顔が見えるため設計者側の気持ちとしては安心してコンペへの参加が出来る。 ・下地を作ってからコンペに参加よりも、コンペ 1 つにエントリー費を支払うほうが気は楽である。 ・コンペのルールとしてぱっとみてシンプルであるほうが、参加しやすいのでは。 ・講習会参加でのポイント制にしてしまうと時間を割いてしまう。 新村委員より ・定期的に講習会を実施し会員のコンペに対するスキルアップを図る。			

- ・講習会等、委員が動く度に人件費が掛ってしまうのでその収入源を確保および運営費として年会費の代わりとしてコンペのエントリー費で徴収するのはどうか。
- ・上記の事を組み合わせて、講習費・エントリー費で運営し、より多くの会員に参加して頂くシステム構築が良いのではないかな。

小野委員より

- ・4つの講習会を全て必須にしまうと、現状の登録料よりも支払い額が増えてしまう。
- ・研修会を行うと自分の身になるので、独立した研修会でも魅力的である。
- ・義務で講習会を受講するよりも、自分からやりたかった講習会に参加した結果、コンペにも参加が出来るというほうがいいのでは。

小幡委員より

- ・コンペに参加する際、エントリー費で参加する方、ポイントで参加する方、選択肢が広がるので両方の参加方法があってもいいのではないかな。
- ・講習会でのポイント付与の場合、やむを得なく出席が出来ない場合ポイントが貯められないのではないかな。
- ・講習会を受けた方には、お客様にこういう講習会を受けた方が参加しているというのを提示すれば受けてない方との差別化が出来るのではないかな。

玉田副委員長より

- ・今までの実績として、講習会には、参加されない方が多かった。
- ・またコンペに参加しても実例として「住・緑・家」の最低限のルールを知らずにコンペ参加する方もいた。
- ・どれぐらいの県産材料が神奈川県にあるのかコンペに参加する方には、勉強して頂きたいので講習会等を実施すれば伝わっていくのではないかな。

長谷川副委員長より

- ・「住・緑・家」の登録数は、31社であり、クライアントによっては31社だけでは受け付けていただけない場合もある。
- ・コンペをやった事ない人向けにコンペ作品をどう作るのか、プレゼンをどうやるのか等のスキルアップを目指した講習会を実施するのがいいのではないかな。また、会場を神事協会議室にし、講習会参加者とディスカッションしながら出来る講習会を計画するのがいいのでは。また、参加費を¥1000～¥2000に設定しポイントを高く設定すれば、受講者が集まるのでは。
- ・収入が安定してから、PRをするのもいいのでは。

大和田委員長より

- ・現段階では、コンペのエントリー費を設定していないので、他のエントリー費を調べてそれを参考に設定していきたい。
- ・会員780社全てにコンペの参加資格があるため、登録料を取るべきではない。
- ・エントリー費、講習会の二本で予算の確保をすることとする。
- ・立会い費は5000円で今後も設定していくこととした。

②その他コンペシステムについて

③その他、「かながわe家」とのコラボレーション

4. 平成26年度 事業計画案および予算要求案について

5. その他

- ・今年度ホームページの形が決まりしだい見積もり書を提出することとした。
- ・次回委員会にて、コンペのエントリー費、講習会の内容を議題としているので、他のコンペ等・の大まかなエントリー費を調べることとし、また講習会をどういった内容で実施するのか各々チェックをすることとした。

次回 平成25年 12月3日(火) 15:00～17:00 神事協地下会議室にて
また、委員会終了後、顔合わせ兼忘年会を予定しております。

25～26 年度 第 5 回 (一社)神奈川県建築士事務所協会 「住・緑・家」運営専門委員会 議事録			
開催日時	平成 2 5 年 1 2 月 3 日 (火)	会 場	(一社) 神奈川県建築士事務所協会 会議室
出 席 者 (○)	担当理事 (委員長) ○大和田 副委員長 ×長谷川・○玉田 (委 員) ○中尾・○山中・○新村・○小野・○矢澤・○小幡		

1. 各種報告事項

①前回議事録の確認 (11/5)

②東急白根自治会館の報告 (中尾委員より)

- ・概算見積り提出→建設委員会にて予算承認→実施設計作業中
- ・敷地条件より予算が厳しいと予想をしていたがガケもあるので予算を多少多めに見込んでいた様子。
- ・地業工事の事前調査を実施したが現状が不明瞭であるので近隣データを採用し杭を計画している。(補助金が 1 / 2 あるので含めて対応予定)
- ・方針及び結論は 1 月中に総会があり協議される予定。

③中里町友会館ヒアリング報告 (コンペ応募者数 1 2 名)

- ・急ぎの案件であったこともあり玉田副委員長にてヒアリング実施、要綱作成を実施した。
- ・基本設計は 4 月ということになっているが区役所の期限的には 4 月が絶対という訳ではない。
- ・自治会としては 4 月の総会を目標の依頼。(概算、配置、平面、立面等基本図)
- ・予算的に厳しいと思われるが？
→ 1 9 2 m²と 3 0 0 0 万円のどちらを優先するのか？
→ 1 9 2 m² (利用用途、目的より規模を優先する)

④茅ヶ崎本宿自治会館ヒアリング報告、コンペ要綱について

- ・大和田委員長と玉田副委員長にてヒアリング実施
- ・本件だけの内容ではないが、要綱作成担当者がコンペ参加は良いか？
大和田委員長→関わったからといって必ずしも有利にならないのでは？
中尾委員、山中委員→実際は有利にならないかもしれないが周りから見れば有利に映るので無用の疑いを無くす為に不参加のほうが良いと思う。
結果・・・参加者が要綱を作成しないこととする。
本件については、大和田委員長にて作成をする。

⑤横浜市大口通本町自治会館の件について

- ・ 1 月中にヒアリング実施が必要
→大和田委員長、山中委員 (コンペ不参加) にて対応。要綱も同じく。

⑥永田町上第 5 町内会館について (玉田副委員長より)

- ・ 1 2 月 1 5 日引き渡し予定との報告。

2. 今後の活動方針について

①コンペのエントリー費の件について

長谷川副委員長 (当日欠席にてコメントのみ)
→エントリー費を無しにして事務経費を 5 %でその他研修会費の収入を少し見込んで再検討をしてみてはいかがか？ (レジュメに本文ありのため全文は割愛)

また委員全員で運営・規定の改定に関するディスカッションを行った。

新村委員

→年4回講習会、1回目は3000円（2P）で事業説明（住・緑・家）
その他の講習会は、2000円（1P）
参加費3000円（2Pで1回）
ポイント制で対応する。但しポイントは単年度償却方式とする。

小野委員

→2つのコンペサイトを検索
オゾン：申込者負担31.5万円、不採用者は経費として5.25万円受け取る。
ハウスコ：エントリー無料、選定者無しが多い。年会費あり

申込み費用・・・木造案件→10万円（現状のまま）、
非木造等（大規模）→最低額20万円程度で規模、用途により上げていく。

小幡委員

→エントリーは無料で良いと思うが、神事協という性質上講習会などで経費を賄う。
成約時に5～8%を事務手数料として納付し運営に充てる。

中尾委員

→講習費を払った人はエントリー無料とし講習費を払っていない人はエントリー有料とする。
成約時の事務手数料は1～2%。（負担が小さいほうが良い）

矢澤委員

→登録料無料、コンペ提出時に7～9000円
講習会は1回3～5000円、エントリーは講習会参加者3～4000円、
講習会不参加者5～7000円
成約時の事務手数料は5%程度が妥当だと思う。
※木造は3000円程度が妥当だと思う。

山中委員

→登録制とはしないものの、制度説明講習は必要と思うので同講習を必須としたほうが
良いと思う。その他の講習会は通常通りとし参加費は木造3000円、その他は今後の検討
講習はポイント制が良い。

大和田委員長（まとめ含む）

→必須ガイダンス5000円（3P）年複数回開催し多くの会員が利用しやすいようにする。
エントリー費は設ける。
（今後は木造以外も想定しているので規模、用途を考慮し金額を決めていく）
講習会はポイント制とし（住・緑・家主催以外の講習会にも付与したい）
成約時事務手数料 3～8%（平均5%程度）
一般講習は2000円（1P）程度とする。主にスキルアップ講習とする。
クライアントは10万円（基本）とし規模、用途、難易度に応じて追加するようにする。

当面のエントリー費用・・・木造（住宅、自治会館）3000円（住・緑・家）
1P＝1000円で精算出来るようにする。

次回 平成26年 2月5日（水）15:00～17:00 神事協会議室にて

25～26 年度 第 7 回 (一社)神奈川県建築士事務所協会 「住・緑・家」運営専門委員会 議事録			
開催日時	平成 2 6 年 3 月 1 1 日 (火)	会 場	神奈川県建築士事務所協会 会議室
出 席 者 (○)	担当理事 (委員長) ○大和田 副委員長 ○長谷川 (委 員) ○中尾・○山中・○新村・○小野・○矢澤・○小幡		
1. あいさつ 大和田委員長より 2. 各種報告 (1) 自治会館ヒアリング等の報告 ① 中里町友会館 . . . 中尾委員より ・コンペに当選された理由についてご報告なされた。 他の作品については、広間を経由してお手洗いに行くようになっていたり、デザインがシンプルではなかったため。(レジュメに計上しているため全文は割愛する。) ② 横浜市大口通本町自治会館 . . . 大和田委員長より ・大和田委員長と新村委員でヒアリングを行った。 ・応募要領 (たたき台) を作成。4 月 1 日以降の受付となる事がご報告なされた。また、受付の時期が横浜市庄戸会館と同時期のため参加人数が割れてしまうのではないかと。 ③ 横浜市庄戸会館 . . . 大和田委員長・長谷川副委員長より ・3 月 1 1 日、委員会前に大和田委員長及び長谷川副委員長でヒアリングを行った。 ・横浜市庄戸会館の方の希望として、3 月 1 7 日より募集、2 4 日〆切の希望があったが、「住・緑・家」コンペ新体制への切り替え時期と重なり会員への対応が難しい。 ④ 茅ヶ崎本宿会館コンペの課題と反省 . . . 中尾委員・山中委員より ・上原建築設計事務所が選定された事がご報告なされた。 ・提出作品数が少なかったことや。ヒアリング～立会等のシステム上の問題が見られたコンペとなってしまった。反省すべき点を洗い出し、今後のコンペ開催につなげていきたい。 (2) 統括委員長会 (2/2 0) 予算案の変更要求について ・配布資料 No.3 の活動方針について統括委員長会議で、変更依頼がなかったことが報告なされた。 ・予算案についてコンペへのエントリー費の計上を¥8,000 → ¥1.0000 に変更の依頼があった事が報告なされた。 ・図面による一次審査の際、経験者等の図面の説明者 (アドバイザー) が必要なのではないかと? ・コンペ契約時の事務手数料として 5 %→1 0 %に変更の依頼があった。 (3) その他 3. 議 題 (1) コンペ要綱等の見直し 【コンペのシステムについて】 ・統括委員長会でのご依頼通り、一次審査の際は 1 人以上の相談役 (アドバイザー) を付けることとし、その任務を相談役として正副会長及び正副会長経験者にご依頼する。 ・県産木材の使用のルールについて、住宅のコンペは今まで通りとし、自治会館等及びその他のコンペについてはフリーとする。 ・3 月中の受付については従来のコンペシステムで実施し、4 月 1 日より新しいコンペシステムに移行していくこととする。			

- ・規定等の変更は総会までに行う事とする。

【エントリー費について】

- ・自治会館・町内会館のコンペ及び住宅向けその他のコンペでエントリー費を変える事とする。
- ・規約が確定するまでの間について、現在「住・緑・家」に登録されている事務所についてはエントリー費を無料とし、他の申込者については、2～3千円とする提案がなされた。
- ・エントリー費1万の計上+事務局手数料10%は高いのではないか？逆に会員の参加申し込み減少になる懸念がある。

(2) 今後の活動方針について

【コンペについて】

- ・現在のコンペシステムでは、コンペに勝ち上がった際のメリットが薄いため、勝ち上がった際のメリットを考えていく。例として、お申込者に作品を1位～3位まで順位をつけていただき展示会を行う。また、エントリー費を全額バックする等。
- ・コンペの情報をホームページ等で先に公表し、その後に要綱を公表する。また、要綱については、もっと作品が提出されるような募集をしていく
- ・コンペの申込状況等について随時公開していくという提案がなされた。
- ・もっと作品が提出されるよう募集の要領等を工夫していく。

【PR方法について】

- ・目的としてお申込者増加及びコンペへのエントリー者増加とする。
- ・総会や、神事協フェア等で今までコンペに選ばれた方々にスピーチをしていただく提案がなされた。

(3) 平成26年度予算案について

- ・コンペPR費の50万の計上は、26年度のみとし次年度からは10万ぐらいの計上となる予定である。

(4) その他

【宿題】

- ・第7回「住・緑・家」専門委員会配布資料No.4
「住・緑・家」コンペ等規定のチェックと確認
※次回～5月委員会にてディスカッションを予定

【次回：予定の議題として】

- ・「住・緑・家」運営専門委員会規定について
- ・コンペ申込要綱について

平成26年4月8日（火） 15：00～17：00 神事協会議室2Fにて

25～26 年度	第 8 回	(一社)神奈川県建築士事務所協会	「住・緑・家」運営専門委員会	議事録
開催日時	平成 2 6 年	4 月 8 日	(火)	会 場
出席者 (○)	担当理事(委員長)	○大和田	業務支援委員長	○福田
	(委 員)	×中尾・×山中・○新村・○小野・×矢澤・○小幡	副委員長	○長谷川

1. あいさつ . . . 福田業務支援委員長より

2. 各種報告

(1) 本年度(平成 2 6 年度) 予算および講習会年間スケジュールについて

- ・「住・緑・家」専門委員会の講習会開催日について、第一回を 11/7 または 11/10 とし、第二回については 3/24 または 3/27 に開催することとする。
- ・ワークショップでコンペの選定・評価された事案を発表し、参加者数の増加を目指すこととする。

(2) 家づくりフェアへの参加について(長谷川副委員長よりご報告及びご説明)

- ・長谷川副委員長よりご報告がなされた。
- ・5 月 3 1 日に開催とし、開催の目的として神奈川県産材のブランド化を目指す目的がある。また、この家づくりフェアについて「住・緑・家」運営専門委員会の参加が呼びかけられたことがご報告なされた。
- ・出展については正式な依頼があり、安全協会も出展検討していれば協力予定とする。

(3) 自治会館ヒアリング等の報告

- ・申込状況のご報告が下記の通りになされた。

【横浜市庄戸会館】

- ・H24～25 年度「住・緑・家」登録事務所 1 0 名
- ・会員お申込者 1 0 名 計 2 0 名(最終お申込み結果)

【横浜市大口通本町会館】

- ・H24～25 年度「住・緑・家」登録事務所 8 名
- ・会員お申込者 7 名 計 1 5 名(最終お申込み結果)

(4) その他

【「住・緑・家」今年度予算・コンペ登録料について】

- ・今回の自治会館コンペ 2 件の登録料 1 万円でない件について総財務より確認の電話があった事がご報告なされた。上記の件についての返答は、4 月 17 日の統括委員長会で大和田委員長より返答をする。
- ・コンペ契約時の委託金(事務手数料)について、1 0 %は必要経費がチェック体制やバックアップ体制など明確なっていれば現在の計上のままで問題はない。また、1 万円のエントリー費については、上記の事務手数料 1 0 %も踏まえて賛成は難しい。

【コンペ PR 方法】

- ・横浜の自治会館・町内会館の実績を神奈川県に持っていき、「住・緑・家」コンペの PR を行う。
- ・6 月 6 日開催の総会にて終了後に 1 0 ～ 1 5 分の時間をいただき、「住・緑・家」コンペおよび「住・緑・家」運営専門委員会の講習会の PR を行う。PR 方法については、次回委員会にて検討予定とする。

3. 議 題

(1) 大口通及び庄戸自治会館「講評委員の選定及び依頼」について

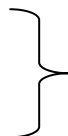
- ・小林会長、芝副会長、棕副会長、小渡副会長、伊藤専務が委員の候補として挙げた。
- ・「横浜市庄戸会館」の講評委員会について、5 月 7 日(水) 9 : 0 0 ～ 1 2 : 0 0
→「住・緑・家」運営専門委員会出席者 大和田委員長・長谷川副委員長
- ・「横浜市大口通会館」の講評委員会について 5 月 1 4 日(水) 9 : 0 0 ～ 1 2 : 0 0 に開催とする。
→「住・緑・家」運営専門委員会出席者 大和田委員長・新村委員

(2) コンペ申込要綱等の見直しについて

- ・1次審査通過者については提出図書をポートフォリオで提出していただく予定とすることとし、2次審査まで進んだ方については、ホームページ等でプロフィール等を公開することとする。

(3) 「住・緑・家」運営専門委員会規程について

- ・委員会の規程
- ・「住・緑・家」コンペ運営細則
- ・「住・緑・家」コンペ要綱



全体の見直しを行う事とし、長谷川副委員長に一任をする。

(4) 今後の活動方針について

- ・2. 各種報告 (4) その他 【コンペPR方法】に掲載のため割愛。

4. その他

(1) 次回の議題について

- ① 「住・緑・家」運営専門委員会の規程について
- ② 総会でのコンペPR方法について

(2) 次回の委員会日程の確認

第9回 「住・緑・家」運営専門委員会 5月13日(火) 15:00 ~ 17:00 神事協地下会議室にて

(3) 今後のコンペのスケジュール

横浜市庄戸会館スケジュール

月	日	
4月	28日	コンペティション作品提出締切 ※17:00 必着
5月	7日	コンペ講評委員会 「住・緑・家」大和田委員長、長谷川副委員長
	10日	一次審査
	12日	選考通知 ※予定
	17日	二次審査 13:30~(予定) (委員立会:長谷川副委員長、山中委員)
	24日	設計者の選定 ※予定

横浜市大口通本町会館スケジュール

月	日	
5月	9日	コンペティション作品提出締切 ※17:00 必着
	14日	コンペ講評委員会 「住・緑・家」大和田委員長、新村委員
	17日	一次審査 (委員立会:大和田委員長、新村委員)
	19日	選考通知 ※予定
	24日	二次審査 13:30~(予定) (委員立会:大和田委員長、新村委員)
	31日	設計者の選定 ※予定

25～26 年度 第 9 回 (一社)神奈川県建築士事務所協会 「住・緑・家」運営専門委員会 議事録			
開催日時	平成 2 6 年 5 月 1 3 日 (火)	会 場	神奈川県建築士事務所協会 会議室
出席者 (○)	担当理事 (委員長) ○大和田 副委員長 ○長谷川・○中尾 (委 員) ×山中・○新村・○小野・×矢澤・×小幡 オブザーバー ○竹内		

1. あいさつ

2. 各種報告

(1) 講評委員会について

- ・庄戸会館、大口通本町会館コンペの講評委員会のメンバーを紹介
今後については、横浜市の方にも講評委員になっていただくよう検討をしていく。
- ・大和田委員長より EXCEL で作成したコンペ採点システムについて、解説が行われた。

(2) コンペ申込要綱等の見直しについて

- ・設計料の 10%を運営手数料とする。この内容については募集要項にも掲載する。
- ・コンペ後の結果について、今後は作品提出者全員に点数を含め通知を行うようにする。
- ・優秀作品については、賞金等を出すか今度検討をしていく。

(3) 「住・緑・家」運営専門委員会規定について

- ・「住・緑・家」運営専門委員会について、今後は支部の立場に関係なくやる気のある人が、委員になれるようにしていく。

(4) 「住・緑・家」委員加入等について

- ・業務が増え人数が足りなくなる可能性があるので、委員増やしていく必要がある。

(5) その他

- ・募集要項の文面がネット検索でヒットしてしまうので今後対策を行っていく。
- ・庄戸会館、大口通本町会館コンペについての報告

3. 議 題

(1) 今後の活動方針について

- ・2 6 年度は、ヒアリング、講評の経験者と未経験者が組んで携わり、誰でもこなせるようにしていくこととする。

(2) 6/6 総会での PR 方法について

- ・A4 サイズ 1 枚に「住・緑・家」についてまとめ、総会後の賛助会フェアで PR を行う。
- ・PR 方法については、今までの事例や今後のコンペの予定を通知、庄戸会館及び横浜市大口通会館の作品をパネル化し展示を行う案がなされた。
- ・PR 紙は中尾副委員長が担当。下記の内容でまとめていくこととした。
 - ①事務所協会メンバーであれば誰でも参加できる。
 - ②今までの実績
 - ③コンペが行われた案件については 100%近い高い確率で着工している等々。
- ・今後も PR をしていき、コンペ参加者の増加を目指す。また、事務所協会に入る人の増加も目指したい。

4. その他

① かながわブランド県産木材品質認証部会員推薦について

- ・6 月 9 日 厚木の県信連で行う。長谷川副委員長および新村委員が担当。

② 次回の議題について

- ・総会の PR 方法及び PR 紙の内容について

③ 次回の委員会日程の確認 ※6 月 3 日 (火) 会場：神事協 2 階会議室

- ・講習会の日程について
第一回目 11/7 または 11/10 に開催予定。
第二回目 3/24 または 3/27 に開催予定

25～26 年度 第 1 0 回 (一社)神奈川県建築士事務所協会 「住・緑・家」運営専門委員会 議事録			
開催日時	平成 2 6 年 6 月 3 日 (火)	会 場	神奈川県建築士事務所協会 会議室
出席者 (○)	担当理事(委員長) ○大和田 副委員長 ○長谷川・○中尾 (委 員) ○山中・○新村・○小野・○矢澤・○小幡・○竹内・×志村・○吉川		
1. あいさつ			
2. 委嘱状授与			
・横浜支部 竹内 俊雄 様			
・横浜支部 吉川 文子 様			
3. 各種報告			
(1)「海老名市浜田自治会館」建設デザインコンペについて			
① 応募登録料について			
・総財務委員会からの強い要望により 1 万円で設定。			
② 担当委員について			
・大和田委員長および竹内委員が担当することとする。			
(2) その他			
① 横浜市庄戸会館			
・横浜支部 赤岩勝彦デザイン事務所(講評 2 位)が選定された。 S 造で予算が合うかの質疑に対し、40 万円/工事			
② 横浜市大口通本町会館			
・藤沢支部 三村邦彦建築設計事務所(講評 4 位)が選定された。 印象に残るポイントがあり、そこが選定理由となった。			
③ 中里自治会館			
・確認済証 6 月 3 日、6 月 4 日入札 補助金申請を行う。			
④ 白根東急自治会館			
・地鎮祭近々行われる。また、ボーリング調査が必要なため、解体後調査を行いその後、補助金申請を行う。			
4. 議 題			
(1) 今後の活動方針について			
①「住・緑・家」コンペについて			
・優秀作品について、設計者選定後、ホームページ上に掲載を行う。			
・コンペお申込者については、二次審査終了後に講評委員会での講評点数を送付する。			
② 委員会について			
・「住・緑・家」運営専門委員会の中で、下記のとおり部会を作成し、担当決めを行った。			
【ホームページ部会】			
長谷川副委員長(部会長)・矢澤委員・小幡委員			
【パンフレット部会】			
新村委員(部会長)・山中委員・竹内委員			
【イベント部会】			
中尾副委員長(部会長)・吉川委員・志村委員			
(2) 6/6 総会での PR 方法及び PR 紙について			
【PR 方法について】			
横浜市庄戸会館および横浜市大口通自治会館での選定された作品、2 次審査に選考されたものをパネル化にし、公開を行う。→パネル作成 大和田委員長が担当する。			

【PR 紙について】

賛助会フェアで配布するための PR 紙を作成。募集要項、コンペ規約とともに配布を行う。
→PR 紙作成 中尾副委員長が担当する。

(3) その他

5. その他

(1) 次回の議題について

- ・各部会で試案を作成し、持ちよることとする。

(2) 次回の委員会日程の確認 ※7月1日(火) 会場：神事協 地下会議室

25～26 年度 第 1 1 回 (一社)神奈川県建築士事務所協会 「住・緑・家」運営専門委員会 議事録			
開催日時	平成 2 6 年 7 月 1 日 (火)	会 場	神奈川県建築士事務所協会 会議室
出 席 者 (○)	担当理事 (委員長) ○大和田 副委員長 ×長谷川・○中尾 (委 員) ○山中・○新村・○小野・○矢澤・○小幡・○竹内・○志村・○吉川		
1. あいさつ . . . 大和田委員長より			
2. 委嘱状授与 ・横浜支部 志村 孝次 様			
3. 各種報告 (1) かながわブランド県産木材品質認証部会について かながわブランド県産木材品質認証部会に出席された際の内容を新村委員より報告がなされた。 (2) 「海老名市浜田自治会館」建設デザインコンペについて (3) その他 ① 6 月 2 4 日開催の業務支援委員会での活動報告について 第 7 回 業務支援委員会出席の際の活動報告について大和田委員長より下記のとおり説明がなされた。 Ⅰ. 各委員の出席状況の確認 Ⅱ. 各コンペ概要及び活動費用状況の説明 Ⅲ. 横浜市へ「住・緑・家」利用物件 (自治会館) の写真提供の報告 ② 中尾副委員長より中里町友会館および東急白根自治会館の進捗状況の報告			
4. 議 題 (1) 今後の活動について ・横浜市内の自治会館の需要について 3 0 0 件ほどの見込みがありそう。 ・上記見込みのため、活動が活発になることから委員増強を行いたい。 ・神事協正会員及び賛助会の施行業者入札システムの検討を行っていく。 (2) 各部会の試案報告 ① ホームページ部会 (大和田委員長 (長谷川部会長代理)・矢澤委員・小幡委員) ・ 7 月 1 日「住・緑・家」運営専門委員会開催前に第一回「住・緑・家」ホームページ部会を開催。 ・既存ホームページの県について、外注先との契約、関わりで大きなレイアウト変更は不可である。 ・自治会館向けの内容を掲載したページも必要なのでは？ ・トップページを新規に作成 (ロゴ修正も含み 1、コンテコンペにて) ・情報の公開については、情報をデータ化 (PDF 等) にし、サーバーにアップ後、そこにリンクを貼ることで、ホームページの編集等の省略化をはかることとする。 ② パンフレット部会 (新村部会長・山中委員・竹内委員) ・自治会館向けのパンフレット (A3 見開きで) を最初に作成をする。 ・イベント時の配布用パンフレットとし、A4 サイズ 1 枚のパンフレットも今後用意をしていく。 ③ イベント部会 (中尾部会長・志村委員・吉川委員) ・今後、イベントで使えるようなツール (カレンダー等) を探し、検討を行っていく。			

次ページへ

(3) その他

5. その他

(1) 次回の議題について

上記各部会の試案に基づき、各自ホームページのトップページ及びパンフレット案を作成し、事務局へ提出。
締切は、8月20日までとし、次回の第12回「住・緑・家」運営専門委員会にてFIXするものとする。

(2) 次回の委員会日程の確認 ※9月2日(火) 15:00～17:00 会場：神事協 地下会議室

25～26年度 第12回 (一社)神奈川県建築士事務所協会 「住・緑・家」運営専門委員会 議事録			
開催日時	平成26年 9月2日 (火)	会 場	神奈川県建築士事務所協会 地下会議室
出席者 (○)	担当理事(委員長) ○大和田 副委員長 ×長谷川・○中尾 (委 員) ×山中・×新村・○矢澤・○小幡・○竹内・○志村・×吉川		
1. あいさつ . . . 大和田委員長より			
2. 各種報告			
3. 議 題			
(1)「住・緑・家」ホームページの件について			
小幡委員より 資料1-1の説明がされた。 ・最初の一面に「住・緑・家」の写真を掲載し、写真上に他のコンペとの違いを表示させる。 ・下にスクロールをしていくと今までの完成物件や写真の図面が出てきたり簡単な説明をいれる。(参考イメージサイトについては、【資料1-1】を参照) ・バナーについては、スクロールをしても常に左側に表示するよう設定をする。			
矢澤委員より ・現在のホームページの形はそのまま維持をして、カテゴリ内の編集を行う。 ・コンペ選定者 - 図面 - 竣工後の建物を1枚の画像にしたものをHP下部に表示。 ・トップの画像については、作品例を載せる。また、右側と左側にも少しだけ表示させてときクリックと同時に写真が切り替わるようにする。			
中尾副委員長より ・左部分と右部分でページを分ける。(左部分に「住・緑・家」コンペ詳細・右部分に写真や現在お申込みコンペ情報等) ・現状のホームページでは、住宅と自治会館が一緒になっていたりバナーが色んな場所に設置してあり、見難い。 →矢澤委員より ・バナーの表示については、現在の活動状況がわかるよう色んな場所に表示しててもよいのでは？ ・「住・緑・家」コンペが終了した自治会館の要綱を閲覧出来るようにする。過去の要綱を見て、他の自治会館のお申込みを促すことが出来ることを踏まえて。 ・出来るだけシンプルなホームページが良いのではないかな？			
竹内委員より ・コンペに選定された事務所でも、個人をホームページで載せるのはどうなのか？会員向けのオープンコンペになったことから会員全て平等にするべきではないのか？ →中尾副委員長より ・他のコンペでも、選定された事務所や会社等は公表を行っている。また、コンペに参加されるということは、そういう事も含めて参加されている。 →矢澤委員より ・ホームページは、一般の方も閲覧するためにある事から、今までのコンペでどういう方が参加をし、どういった事務所が選定されたかわかった方が安心するのではないかな？			
志村委員より ・現在のお申込みは、住宅より自治会館が多いので、自治会館に特化したホームページがいいのでは？ ・住宅については、個人とのヒアリングを行ってからフィーリングが合えば申し込むので、ホームページを閲覧してお申込者が増えるのかどうか。 ・ホームページを見て、お申込みというよりもお申込みやヒアリングをしてからホームページを見ていただく、イメージが強い。			
大和田委員長より ・新しいホームページへ移行するに伴い、今までのコンペ作品、現在公開されている作品については、どのように対応するか？ →事務局にて、過去の作品を全てPDFにし、「住・緑・家」委員に送付。その後、各委員でチェックを行い選定を行う。選定したもののみを公開する。 ・パンフレットに合わせホームページを作成していくこととする。			

次のページへ

(2) 11月開催予定の「住・緑・家」講習会（ワークショップ）について

事務局より

- ・ 11月15日（土）に神事協フェアを開催。開催会場と同時に会議室60人～70人規模会議室を確保済み。11月上旬に予定していた、「住・緑・家」ワークショップをそこで開催はどうだろうか？
→候補日とする。内容については、今までのコンペで選定された方を講師としお呼びしパネルディスカッションを行う。また、お申込して下さった方を講師とし完成後のお話等をしていただく案が出された。
時間については、1時間半のワークショップを1日に2回行い、会場費がかからないことから26年度予算に計上していた参加費より下げることが出来る。
詳しい内容については、次回委員会までに大和田委員長が（案）を作成する。

(3) 施行者選定システムについて

大和田委員長より

- ・ 設計者選定後に会員事務所の中で施行者を選定するシステムを作成。目的としては、兼業している会員事務所の方も参加出来るように作成した。
- ・ 海老名市浜田自治会館で試行し、問題点を抽出後、理事会に報告。その後、実施をしていく。

(4) その他

【「住・緑・家」パンフレットについて】

- ・ 新村委員より提出いただいたパンフレットを基に各委員にて（案）を作成し、次回の委員会にて発表を行う。

4. その他

(1) 次回の議題について

次回委員会までの準備として、新村委員提出のパンフレットを基に各委員にて「住・緑・家」コンペ自治会館版のパンフレットを作成。また、ホームページ移行に伴い過去コンペ作品の掲載する物の選定。

※事務局にて、パンフレットの作成までの費用を調べる。

(2) 次回の委員会日程の確認 ※10月7日（火） 15:00～17:00 会場：神事協 2階会議室

25～26 年度 第 1 3 回 (一社)神奈川県建築士事務所協会 「住・緑・家」運営専門委員会 議事録			
開催日時	平成 2 6 年 1 0 月 7 日 (火)	会 場	神奈川県建築士事務所協会 会議室
出席者 (○)	担当理事 (委員長) ○大和田 副委員長 ×長谷川・×中尾 (委 員) ○山中・×新村・○矢澤・○小幡・○竹内・×志村・×吉川		
1. あいさつ . . . 大和田委員長より 2. 各種報告 1) 「住・緑・家」コンペ施行者選定システムについて ・海老名市浜田自治会館にて松尾 様の御協力頂き、上記システムに試行を行うこととする。 ・上記システムは神事協会員 (兼業) に対する事業として来年度より運用予定とする。 3. 議 題 1) 「住・緑・家」パンフレットの件について ・印刷代約 3 万円、構成等については、委員の方が受け持って頂き今後進めていきたい。→矢澤委員が担当。 ・パンフレット配布を行えば、ホームページを確認して頂ける方も増えてくると思うので、パンフレット作成後、ホームページも作成していく。 ・講評のついた作品だけでもホームページに掲載したい。 2) 「住・緑・家」ホームページの件について ・パンフレット同様、委員の方が受け持って頂いて進めていきたい。 ・次回の委員会にて担当を決めることとする。 3) 1 1 月開催予定の「住・緑・家」講習会 (ワークショップ) について ・選定事務所 3 名、自治会館の方 1 名、立会 1 名 計 5 名の方をパネリストとして依頼する。 ・自治会館の方については、海老名市浜田自治会館建設委員 松尾 稔威 様に依頼。 ・「住・緑・家」にまだ関わったことがない方も大勢いらっしゃる事が予想される事から、第一部を「住・緑・家」のシステムの説明、第二部については、パネルディスカッションを行うこととする。 ・内容等のたたき台については、大和田委員長が担当。 4) 横浜市市民局市民協働推進部地域活動推進課について ・横浜市市民局市民協働推進部地域活動推進課 桑原 様より TEL にて、設計料の補助金に関して、横浜市内業者ではないと補助金が発生しない旨のご連絡を頂いた。 ・庄戸会館より上記の事でお問合せがあり、ホームページに庄戸会館コンペの作品を掲載しないで頂きたいというご連絡を頂いた。 ・今後、横浜市の方とアポイントを取って、お話しをお伺いすることとする。 ・小渡横浜支部長にはお話し済みである。 5) 27 年度予算要求案について ・別紙 27 年度予算要求案参照 4. その他 1) 次回の議題について ・「住・緑・家」パンフレットの件 ・神事協フェア (パネルディスカッション) 担当役割決め等について 2) 次回の委員会日程の確認 ※ 1 1 月 5 日 (水) 1 5 : 0 0 ~ 1 7 : 0 0 会場 : 神事協 2 階会議室			

25～26 年度 第 1 4 回 (一社)神奈川県建築士事務所協会 「住・緑・家」 運営専門委員会 議事録			
開催日時	平成 2 6 年 1 1 月 5 日 (水)	会 場	神奈川県建築士事務所協会 会議室
出席者 (○)	担当理事 (委員長) ○大和田 副委員長 ○長谷川・○中尾 (委 員) ×山中・○新村・○矢澤・○小幡・○竹内・×志村・×吉川		
1. あいさつ . . . 大和田委員長より			
2. 各種報告 . . . なし			
3. 議 題			
1) 「住・緑・家」パンフレットの件について			
矢澤委員より「住・緑・家」パンフレットの説明。 ・別紙パンフレット (案) 2 ページの 3 行目について表現の仕方を委員会で揉んでいただきたい。 ・2 ページ上段部分、「・各種公的な補助金を活用することも可能。」→「・各種公的な補助金を活用するアドバイスをします。」に変更 ・2 ページ中断部分、自治会館の写真を別の自治会館の写真と変更。 ・2 ページ下段部分、住宅のプランが混ざっているため自治会館のプランに統一する。 ・3 ページ、 <u>お問い合わせ</u> 部分の「「住・緑・家」担当」→「「住・緑・家」と事務局まで」に変更 ・ <u>ご説明</u> 部分「「住・緑・家」のスタッフ」→「「住・緑・家」事務局」に変更・「お申し込みから建物竣工まで」→「お申し込みから設計者選定まで」に変更 ・ <u>ヒアリング</u> 部分の最初に「「住・緑・家」専門スタッフが相談にのりながら」を追記。設計上の条件をの「設計上」を削除・二行目を「現地にて敷地の簡易調査、及び提出書類の詳細の確認もあわせておこないます。」 ・ <u>講評委員会</u> の項目を追記→コンペごとに学識経験者 5 名による内容を点数で評価していただきます。 ・ <u>一次審査</u> の部分、応募作品の中から図面審査により、3～5 作品を選定していただきます。 また、応募作品の中から優秀作品を 3～5 社推薦します。 ・ <u>二次審査</u> の部分の「設計者による詳しいプレゼンテーション」→「設計者による詳しい説明と質疑応答を」に変更 ・ <u>設計者選定</u> 部分に「2 次審査後 1 週間以内に設計者を選定していただきます。」を追記。 ・ <u>その他の文章については、各委員で修正・追記等の確認を次回の委員会までの宿題とする。</u> ・パンフスケジュールについて、フェアまでに作成予定であったが、時間的に難しい。			
2) 「住・緑・家」ホームページの件について			
・ホームページの作成については、パンフレットがまとまってから取り掛かることとする。			
3) 神事協フェア (パネルディスカッション) について			
・パネリストについて、横浜支部 アカイワデザインスタジオ 赤岩氏に依頼をしたが、参加出来ない旨のご連絡を頂いたため、当初 5 名のパネリストを 4 名に変更を行った。 ・内容については、1 時間話せるぐらいのシナリオを作成しメールで送付する。 ・「住・緑・家」全作品のパネルを作成し、展示をする。→担当：大和田委員長 ・1 5 日の 1 2 : 3 0 に「住・緑・家」委員は集合 その後、終了 (1 7 : 0 0) まで運営を行う。			
4) 「住・緑・家」コンペ施行者選定システムについて			
・コンペ施行者選定システムについて報告。 ・海老名市浜田自治会館にて試行中。今回は 3 社のお申込みだったため良いが、今後お申込者数が多くなったときに人数の絞り込み方をどうするか等、揉んでいくことが多々ある。			
5) 27 年度予算要求案について			
・別紙 27 年度予算要求案参照			
4. その他			
1) 次回の議題について			
2) 次回の委員会日程の確認 ※1 2 月 2 日 (火) 1 5 : 0 0 ～ 1 7 : 0 0 会場：神事協 2 階会議室 ※委員会終了後、忘年会を開催致します。			

25～26 年度 第 1 5 回 (一社)神奈川県建築士事務所協会 「住・緑・家」運営専門委員会 議事録			
開催日時	平成 2 6 年 1 2 月 2 日 (火)	会 場	神奈川県建築士事務所協会 会議室
出席者 (○)	担当理事 (委員長) ○大和田 副委員長 ○長谷川・○中尾 (委 員) ○山中・○新村・○矢澤・○小幡・○竹内・×志村・○吉川		
1. あいさつ . . . 大和田委員長より			
2. 各種報告			
1) 「住・緑・家」パネルディスカッションについて			
長谷川副委員長より報告			
3. 議 題			
1) 「住・緑・家」コンペお問合せの件について (住宅)			
【事務局よりお問合せの報告】			
・ 1 2 月 1 日 1 5 : 3 0 ごろ電話にてお問合せ。			
・ 川崎支部長 田辺氏よりご紹介いただき電話にてお問合せをした。			
・ 「住・緑・家」のシステムをご紹介頂いたが詳細をお聞きしたいためご連絡頂きたい。 →委員会終了後 大和田委員長が電話にて連絡を行った。			
【対応方法について】			
・ クライアントが県産材を使用したいかどうかの意向で対応方法が変わってくる。			
・ 県木連との協同事業ではあるが、使用しないといけないわけではない。また、使用はしなくてもよいと思うが連絡はするべきではないか。			
・ 前にも県産材を使用していない事例もある。使用は「原則」であるため無理に使用はしなくてよい。			
・ 募集要項については、自治会で使用したものを準じて作成をする。			
・ 前は 3 社だったが今回からは公募とする。			
・ 住宅は個人と個人で契約等していただくため、神事協はコンペが終わったら関わらないこととする。			
・ 委員会終了後、大和田委員長が T E L をすることとする。その際に、オプションとしてコーディネーターの派遣を出来る旨をご説明。クライアントが要望するようであれば、システム作成に取り掛かる			
・ 他のコンペとの違いを見せるためにもバックアップシステムや、コーディネーター派遣のシステムはあった方がよい。			
2) 「住・緑・家」パンフレットの件について			
・ パンフレットの確認を行った。修正箇所は下記のとおりとなる。			
【 1 ページ目】			
・ 特に変更はなし。			
【 2 ページ目】			
・ 一番上の「住・緑・家」ロゴについて、表示が大きすぎるので少し小さくしても良いのでは。			
・ 中央部、公平に選ばれた最良の案が実現します。の写真を永田町内会館の写真に入れ替える。(内装でも良い)			
【 3 ページ目】			
・ 上部の「ご説明」について、お申し込みから 建物竣工まで→設計者選定まで に修正。			
・ 中央部のヒアリングについて、			
「住・緑・家」専門スタッフがご相談に乗りながらご要望を伺います。 建物のへの要望・予算・その他諸条件をお伺いする他、現地にて敷地の簡易調査も行います。			
↓ 修正			
専門スタッフがご相談に乗りながらご要望・予算・諸条件を伺います。 現地にて敷地の簡易調査・提出書類の詳細確認も行います。			
・ 中央部の講評委員会について、「全作品を講評委員会にて公平に審査し提案内容を点数にて評価します。」に修正。			
・ 下段の実施設計～建物完成について、「設計士」となっているところを「設計者」に修正。			
・ 最下部の「住・緑・家」コンペ施行者選定システムのご案内を一つ上との間に少し空白をいれて掲載。 文章については、「「住・緑・家」コンペ施行者選定システムもご用意しています。」に修正を行う			

次ページへ

3) 「住・緑・家」ホームページの件について

- ・パンフレットが完成してからのため、今回はなし。

4) 「住・緑・家」コンペ施工者選定システムについて

- ・新村委員より上記システムのご説明がなされた。
- ・11月29日に3社のお申込者の内、2社を訪問。残りの1社については、後日（12月5日）に訪問することとなっている。
- ・12月7日に建設委員会へお話しを挙げることとなっている。

5) 27年度予算要求案について

- ・27年度予算要求案について1. 収入の部 ⑤施工者選定 契約時手数料については、理事会に承認を得てから計上することとし、今回の予算要求案からは削除をすることとした。

4. その他

1) 竹内委員より

- ・「住・緑・家」専門委員会の委員になって思う事とし、配布された資料についてご説明がなされた。
- ・私案として第1次審査を兼ねた発表会を自治会館で公開の上全作品を展示する。その上で住民の皆様に参加して頂きそれぞれの事務所のPRを兼ねた質疑応答等のブースを設け展示会のようなものを企画する。
→限られた予算・委員数で企画や計画していくことは難しい。私案の提案ということであれば、同時に収支計算書の提出も願いたい。
- ・コンペ参加者の中では、推薦された数社にとっては喜ばしいコンペとなるが、他の推薦されなかった事務所の方については、なぜ選ばれなかったか不明であり、もどかしさや不満が残るのではないかと
→現在それについては、委員会で議論中である。また、選ばれなかった理由等については、講評委員会の講評結果を送付することで選ばれなかった理由等については、明確になる。

・

2) 次回の議題について

- ・配布資料【資料1】「住・緑・家」パネルディスカッション事業報告書を見ながら今後の活動を考えていく。

3) 次回の委員会日程の確認

次回 2月3日（火）15:00～17:00 会場：神事協 2階会議室にて

4) パンフレットについて

- ・平成26年12月25日に事務局より、送付。
- ・パンフレットのチェック後、1月9日（金）までに事務局：高井（takai@j-kana.or.jp）まで連絡をすることとした。

25～26 年度 第 1 6 回 (一社)神奈川県建築士事務所協会 「住・緑・家」 運営専門委員会 議事録			
開催日時	平成 2 7 年 2 月 3 日 (火)	会 場	神奈川県建築士事務所協会 会議室
出 席 者 (○)	担当理事 (委員長) ○大和田 副委員長 ○長谷川・○中尾 (委 員) ×山中・×新村・○矢澤・○小幡・×竹内・×志村・×吉川		
1. あいさつ . . . 大和田委員長より			
2. 各種報告			
1) かながわ木づかい推進協議会運営部会の報告 長谷川副委員長よりご報告 ・かながわ家づくりフェアについて、来年度は、5 月 9 日 (土) 赤レンガにて開催を予定。 ・前回は、産業貿易センターで開催。展示やスタンプラリー等を行った。 ・5 月 9 日にチラシの配布をするのであれば、1 人～2 人お手伝いという形で参加し無料で出来ないか。 →案件を増やすためにも予算がかかっても参加するべきではないか。			
2) 施工者選定システムについて ・3 社のお申込があり、その内 2 社が海老名で 1 社が寒川の事務所であり、選定された事務所については、自治会館まで歩きでいける範囲に事務所がある。 ・細かい報告書は新村委員に提出していただく。その後、システム内容の再チェックを行い理事会へ提出をする。			
3. 議 題			
1) コンペ竣工物件見学会について ・茅ヶ崎市本宿自治会館 日時：平成 2 7 年 3 月 7 日 (土) に開催予定。 上原氏と調整し開催をする。 ・東急白根自治会館 日時については、4 月以降の開催で予定。 ・中里町友会館 日時については、2 月 2 8 日に開催を予定し、調整を行う。 中里および東急白根自治会館については、中尾副委員長に一任をする。			
2) 「住・緑・家」パンフレットについて ・パンフレットの修正点の確認。修正点については、下記のとおりである。 (修正前) (一社) → (修正後) 一般社団法人 3 ページ目の背景を風見鶏のものに決定。 ・以上の最終確認が行われ、事務局より印刷の手配をする。 ・お申込・お問合せ頂いた自治会館にパンフレットと別で A 4 のリーフレットを 1 枚挟む案がなされた。 リーフレットには、竣工後の写真、設計者の考え、利用者の声を掲載する。			
3) 戸塚新沢会館について ・大和田委員長よりヒアリングのご報告。 ・今回の開催を予定するコンペについては、イレギュラーな部分が多い。 ・お申込前のご相談の際の予算 (1,550 万円) では、設計者選定コンペの開催は難しいと思うが、ヒアリングの際には、予算が変更されており (1,620 万円) 程に上がっていた。 ・上記の変更されている予算であれば厳しい予算であるが、通常のコンペを開催することが不可能な予算ではなくコンペ開催が可能となるが、自治会館の方は、デザインビルド方式でのコンペ開催を強く希望されている。			
【要綱 (案) の確認】			
1. 目的について、 契約を採用するにあたり、必要な事項を定める。の契約というのは、前提条件である。			
4. 応募者の対象について 横浜市内に本店のある者とし、単独および共同体とする。というものは、横浜に支店がある等は条件に当てはまらない。また、設計者や施工者が単独に応募された場合のマッチングの必要があるためシステム作りが必要になってくる。			

次ページへ

5. 選考の方法 内5. 選考の観点について

安くしすぎる物件や、定められた予算を超えた物件が出てこないよう「予定事業費を超える者、予定総事業費の9割を下回る者は選考しない。」を追加した。

5. 選考の方法 内6. 選定者の決定について

選定者のうち設計を担当する者は建築主と協議のうえ、担保として設計業務委託予約書を取り交わしていた
た
だく。

6. DBコンペの条件 内2. 計画条件のviについて

所要室について優先度が高いものから順に◎、○、▽で記載。

設備がエアコン必須であるが、◎ではないのは、テレビ・ネット・電話が不要であるため。

4. その他

1) 次回の議題について

- ・パンフレットが出来上がったので、次回よりホームページについて取り掛かることとする。

2) 次回の委員会日程について

- ・3月3日（火）に第17回「住・緑・家」運営専門委員会に開催を予定していたが、日程を変更し、3月5日（木）に日程を変更することとした。

次回 3月5日（木） 15：00～17：00 神事協地下会議室にて

